

凡事徹底・活力・環境

# 五小だより

<http://5s.hyama.andteacher.jp>

令和 6年 9月 2日

No.6

東大和市立第五小学校

TEL (042)562-1981

FAX (042)590-7022

校長 平松 新太郎

## 9月1日 防災の日

今年度から2学期の始まりが9月1日（今年度は9月2日）になりました。運動会や音楽発表会などの行事が続く、一年間で最も長い期間です。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、9月1日といえば「防災の日」です。大正12年9月1日午前11時58分に相模湾を震源とするマグニチュード7.9の関東大震災が発生しました。東京では震度6を観測しました。発生が昼食時だったため、火災による被害がたいへん大きくなりました。

この夏休みは、猛暑が続いたかと思えば急な豪雨に見舞われるなど、天候の変化が人々の生活に大きな影響を及ぼしました。

このように自然災害の多い我が国において、政府や自治体だけでなく、国民一人一人が自然災害に対する認識を深め、備えを整えることを目的に「防災の日」が制定されました。

災害への備えを考える時、「自助」「共助」「公助」の3つに分けることができます。

「自助」とは、

災害が発生した時に、まず、自分自身の身の安全を守ることです。

「共助」とは、

地域やコミュニティといった周囲の人たちと協力して助け合うことです。

「公助」とは、

市町村や消防、都道府県や警察、自衛隊といった公的機関による救助・援助です。

これまでの大きな災害に目を向けると、「公助」が働くまでの間にかなりの時間を要するケースが多いことが分かります。また、被害にあった人がたくさんいる場合、「公助」だけでは救助・支援する側の人数が足りません。したがって、私たち自身ができる、「自助」と「共助」の役割がたいへん重要になります。

災害時だけでなく、日ごろの対策や、復旧・復興対策においても、それぞれの役割を考えておくことが必要です。

「自助」「共助」について、学校でも毎月の避難訓練ごとに話をしていきます。ご家庭でも、「防災の日」を機にお子様と話し合う機会をもっていただければ幸いです。